

- 問1 アフリカの食料問題において、米の生産量が増加傾向にあるにもかかわらず、域外からの輸入依存が解消されず、むしろ需給の差が拡大すると予測されている主な背景は何ですか。その理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。 | 2. すべてのアフリカ諸国がモノカルチャー経済から脱却し、農業を放棄して工業化に特化したため。 | 3. 米の国際価格が大幅に下落しており、域内で生産するよりも輸入する方が経済的負担が少ないため。 | 4. 気候変動の影響によって米の栽培が完全に不可能になり、主食をすべて小麦に切り替えているため。 |
|---|---|--|--|
- 問2 アフリカ大陸の諸国を比較した統計資料において、大陸の最南端に位置し、人口が約5740万人と示されている国家があります。この国の地理的・経済的特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2022年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 地中海に面しており、古代文明の遺跡が多く残るほか、ナイル川の水によって農業が行われている。 | 2. 国土の中央を赤道が通過しており、広大な熱帯雨林と世界第2位の流域面積を持つ河川が流れている。 | 3. カカオの生産量が世界有数であり、特定の農産物の輸出に頼るモノカルチャー経済の傾向が強い。 | 4. 金や白金（プラチナ）などの鉱産資源が豊富で、アフリカの中でも工業化が著しく進んでいる。 |
|--|---|---|--|
- 問3 ある国における2018年の貿易統計をみると、輸出総額は5685億ドルにのぼり、品目別では機械類が20.0パーセント、自動車が9.6パーセント、航空機が9.1パーセントを占めています。アフリカ大陸において、このように機械類や自動車を主要な輸出品目としている国はどこですか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|-------------|
| 1. エジプト | 2. エチオピア | 3. ナイジェリア | 4. 南アフリカ共和国 |
|---------|----------|-----------|-------------|
- 問4 ナイジェリアでは輸出額の約75%を原油が占め、エチオピアではコーヒー豆や野菜・果実などが輸出の多くを占めています。このような経済状況にある国々が共通して抱えるリスクとして、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 関税を完全に撤廃しているため、安価な輸入品によって国内の伝統産業が衰退する。 | 2. 先端技術の導入に頼りすぎているため、労働者の教育コストが国家予算を圧迫する。 | 3. 原材料を輸入して高度な工業製品を輸出する形態のため、燃料価格の高騰に弱い。 | 4. 国際市場における製品の価格変動が、国の経済全体に大きな影響を及ぼしやすい。 |
|---|---|--|--|
- 問5 アフリカ州の食料問題について、「人口」と「穀物生産量」の関係から説明した文として正しいものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 穀物生産量は世界で最も多いが、人口増加のスピードがそれを上回っている。 | 2. 州の面積が狭いために人口密度が高くなり、農地の確保が困難となっている。 | 3. 人口に対する穀物生産量が少なく、一人あたりの生産量が低い水準にある。 | 4. 人口が世界で最も多いため、生産量が追いつかず食料不足となっている。 |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問6 アフリカの国々などで多く見られる、ケニアにおける茶や、ナイジェリアにおける原油のように、特定の農作物や鉱産資源の生産と輸出に経済の大部分を依存する構造を何といいますか。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|--------------|---------|
| 1. 加工貿易 | 2. 持続可能な開発 | 3. モノカルチャー経済 | 4. 水平分業 |
|---------|------------|--------------|---------|
- 問7 アフリカ州では、かつての植民地時代にヨーロッパ諸国によって開かれた、カカオやコーヒーなどの特定の農作物を大規模に栽培する農園が多く見られます。このような大農園の名称と、そこで生産される農作物の主な目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. センターピボットー
主に国外へ輸出するため | 2. ブランテーションー
主に国外へ輸出するため | 3. センターピボットー
自国内の食料自給をまかなうため | 4. ブランテーションー
自国内の食料自給をまかなうため |
|-----------------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
- 問8 ナイジェリアのように、輸出総額の大部分を原油や石油製品などの特定の資源に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。このような経済構造を持つ国が抱える課題についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。 | 2. 人口が多いため国内での資源消費量が多くなり、輸出に回す余力がなくなる。 | 3. 特定の資源の採掘に特化することで、他国との貿易摩擦が激化しやすくなる。 | 4. 工業化が進んでいないため、原油を精製して石油製品として輸出することができない。 |
|--|--|--|--|
- 問9 アフリカ大陸西部の赤道付近に位置し、ギニア湾に面した地域で、外貨を獲得するための主要な輸出用作物として最も盛んに栽培されている農産物を選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------|------|--------|
| 1. トウモロコシ | 2. 小麦 | 3. 茶 | 4. カカオ |
|-----------|-------|------|--------|
- 問10 アフリカ大陸の赤道付近に位置する地域の中には、ケニアのナイロビのように、低緯度でありながら一年を通じて過ごしやすい冷涼な気候となっている都市があります。このように、緯度が低いにもかかわらず気温が低くなる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 寒流の影響を強く受ける沿岸部に位置し、冷たい海風が吹き込むため。 | 2. 広大な砂漠が広がっており、砂が熱を吸収せずに反射してしまうため。 | 3. 標高の高い地形が広がっており、高度が上がるにつれて気温が低下するため。 | 4. 年間を通じて強い季節風が吹き、雨を伴う冷たい空気が送り込まれるため |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--|--------------------------------------|
- 問11 アフリカ大陸の国境線には、山脈や河川などの自然の地形ではなく、経線や緯線に沿って引かれた直線的なものが多く見られます。このような幾何学的な国境線が引かれた主な歴史的背景は何ですか。 (2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 砂漠地帯が多く、目印となる地形が全く存在しなかったから | 2. 国連の主導により、将来の資源開発を公平に行うために策定されたから | 3. かつてヨーロッパ諸国が植民地支配の際に、自国の都合で境界を定めたから | 4. アフリカ諸国が独立する際、民族の居住地域を厳密に分けるために合意したから |
|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問12 アフリカの多くの国々では、特定の鉱産資源や特定の農産物の輸出に頼る経済構造からの脱却が大きな課題となっています。国際価格の変動に左右されにくい安定した経済を築くために、農作物の種類の多様化とともに進められている取り組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------------|
| 1. 輸入を制限し自国内の未発達な産業のみを保護する極端な保護貿易の拡大 | 2. 外国との貿易を遮断する鎖国政策の強化 | 3. 工業化の推進や観光業などの新産業の育成 | 4. 伝統的な自給用作物のみを栽培する農業への完全移行 |
|--------------------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 都市化や人口増加を背景に、域内の生産拡大のペースよりも、消費の拡大ペースの方が速いため。	アフリカ諸国では、急速な人口増加に加えて、都市部を中心に調理が簡便な米の需要が爆発的に高まっています。農業技術の改善によって生産量自体は伸びていますが、消費の増加スピードがそれを上回っているため、自給率が上がらずに輸入に頼らざるを得ない状況が生じています。これは「生産量」と「消費量」のバランスという視点から理解すべき重要な課題です。
問2	答え 4 金や白金（プラチナ）などの鉱産資源が豊富で、アフリカの中でも工業化が著しく進んでいる。	アフリカ大陸の南端に位置する南アフリカ共和国は、金やダイヤモンド、白金、クロムといった希少な鉱産資源の産出地として有名です。これらの資源を基盤として、アフリカ諸国の中では早い段階から工業化が進みました。統計上でも、周辺国と比較して大きな人口規模と高い経済水準（国内総生産）を有していることが特徴です。
問3	答え 4 南アフリカ共和国	統計に示されている機械類、自動車、航空機といった輸出品目の構成は、その国がアフリカ大陸内でも際立った工業力を有していることを示しています。ナイジェリア（原油）やエチオピア（コーヒー）などの資源・農産物輸出が主力の国々と比較すると、南アフリカ共和国がいかに工業製品の輸出に特化した構造を持っているかが分かります。
問4	答え 4 国際市場における製品の価格変動が、国の経済全体に大きな影響を及ぼしやすい。	特定の一次産品に頼る経済構造では、その品目の国際価格が暴落したり、農産物の場合は不作に見舞われたりすると、国全体の輸出額が激減し、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与えることになります。
問5	答え 3 人口に対する穀物生産量が少なく、一人あたりの生産量が低い水準にある。	アフリカ州は他の州と比較して、人口1ユニットあたりの穀物生産量が極めて低いことが統計から読み取れます。食料問題の深刻さは単なる生産量の少なさだけではなく、養うべき人口に対してどれだけの食料を確保できているかという「一人あたりの生産量」の視点が重要です。人口が世界一多いのはアジア州であり、アフリカは面積も広大ですが、生産性が人口増加に追いついていない点が課題となっています。
問6	答え 3 モノカルチャー経済	かつての植民地支配の影響などにより、特定の農産物や地下資源の輸出に頼らざるを得ない経済状況を指します。語源の「モノ（単一の）」が示す通り、少数の輸出品目に依存しているのが特徴です。これに対し、日本などの先進工業国で見られる「加工貿易」や、先進国間で工業製品を融通し合う「水平分業」とは対照的な概念として捉える必要があります。
問7	答え 2 プランテーション 主に国外へ輸出するため	ヨーロッパ諸国による植民地支配を受けていた時代に、カカオやコーヒー、茶、天然ゴムといった特定の作物を効率よく生産するために作られた大規模な農園をプランテーションと呼びます。これらの作物は現地の人々が消費するためではなく、ヨーロッパなどの先進国へ売る「輸出」を目的に栽培されており、その構造が独立後の現在も多くで国で続いています。センターピボットは、地下水にスプリンクラーを回転させて散水する乾燥帯の灌漑農法を指すため、文脈が異なります。
問8	答え 1 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。	モノカルチャー経済は、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を指します。ナイジェリアの場合、輸出の9割以上が石油に関連する資源であるため、世界情勢の変化などで原油価格が暴落すると、国家の財政や国民の生活が極めて不安定になるというリスクを抱えています。これを克服するために、産業の多角化が課題となっています。
問9	答え 4 カカオ	ギニア湾沿岸の地域は高温多湿な気候であり、カカオの栽培に非常に適しています。コートジボワールやガーナなどの国々では、植民地時代に整えられた農園（プランテーション）の仕組みを引き継ぎ、現在も世界有数の生産量を誇っています。これらは国内での消費よりも、日本やヨーロッパなどへの輸出を主な目的として生産されています。
問10	答え 3 標高の高い地形が広がっており、高度が上がるにつれて気温が低下するため。	一般に、標高が約100メートル上がるごとに気温は約0.6度下がるとされています。アフリカ東部などは標高1000メートルから2000メートルを超える高原地帯となっているため、赤道直下であっても標高の影響で気温が低く抑えられ、高地気候と呼ばれる冷涼な気候になります。緯度が低くても地形の条件によって気温が変化する典型的な事例です。
問11	答え 3 かつてヨーロッパ諸国が植民地支配の際に、自国の都合で境界を定めたから	19世紀後半、ヨーロッパ諸国はベルリン会議などを通じてアフリカの分割を進めました。その際、現地の民族分布や地形を無視し、地図上の経線や緯線を基準に人為的な境界線を引いたことが原因です。この直線的な国境線は、独立後のアフリカ諸国において、同じ民族が分断されたり異なる民族が共存したりする要因となり、紛争の背景の一つにもなっています。
問12	答え 3 工業化の推進や観光業などの新産業の育成	特定の農産物や資源に依存するモノカルチャー経済は、国際価格が暴落した際に国家財政が大きな打撃を受けるリスクがあります。このため、アフリカ諸国では原料の輸出だけでなく国内で製品を加工する工業化を進めたり、観光業やIT産業などの新産業を育成したりすることで、経済の多角化と安定化を図っています。